

学校のスタッフとして生き生きと働く！
～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 学年会計業務の支援

【背景と目標】 学年会計について、市の準公金に定められているが、校内の監査体制が整っておらず、様式も統一されていない状況だった。また、年ごとに担当が変わり、そのたびに会計事務の混乱が起こっていた。事務の学年会計への関わりは金融機関への口座登録と引落金額報告のみ。令和3年度に引落の一部がネットバンキングによる伝送に移行したことを契機に、会計書類を適切に整え、担当の負担感を減らすことを目指し取り組んでいる。

【協働・取組】 ①学期末校内監査の設定
各学期終業式を期日として、校内の校長監査を設定した。
校長提出前に一度事務が確認した上で、校長へ提出する形をとっている。
②学年会計マニュアルの作成
年間の流れや公費措置のあるものの一覧など、学年会計に係ることがらや留意点を集約し、担当へ配布した。
③未納一覧・通知文の様式統一
学年や担当個人で用意していた未納通知の様式を統一した。
未納一覧から通知に数字が飛ぶよう、簡単な計算式を設定している。
引落日に事務がネットバンキングで未納者を確認後、一覧へ反映して担当へ周知。
担当は該当家庭への通知を打ち出して配布する。

【成果と課題】 ○監査前のチェックをすることで、学年会計の流れが分かり、書類整理等についてもアドバイスができる。
△マニュアルに載せたことも結局口頭で聞かれる。おそらく、目を通して暇がない。
年度初めに時間をとり、簡単な研修が行えると良い。
△未納者の確認について、ネットバンキングへのログインが煩雑なため、引落日に未納者を事務が一括で確認し、一覧へ転記している。
手動のひと手間を挟むため、ミスに繋がる恐れがある。改善したい。
△会計簿やその他書類の様式については、今後統一していく。
△出金や支払（業者が現金集金）は学年会計担当が行っており、負担感が大きいと感じる。ここについても事務が入ることで改善していきたいが、事務が異動した後、業務を引き継げるかが課題。

【教訓】 教員にとって会計業務は負担。できるところから支援していく。

- (参考例) ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
③ 環境整備の実践
④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

- | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| ① 実践の自分の満足度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 実践への周りの反応 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 事務用品の見える化

【背景と目標】

背景：職員室の事務用品棚の中身が見づらく取り出しにくい

目標：パッと見て分かる事務用品置き場にしたい

【協働・取組】

- ・モノまでのアクション数を増やしている原因を除く
スチール棚のドア撤去、引出を中抜き
- ・目線の位置によく使うものを並べ、見えるように置く
- ・引出の表示を修正

【成果と課題】

それなりに取り出しやすくなったものの、やはり職員から

「〇〇はありますか？」と聞かれる。

また、年度末に各地からモノが返ってくるとあふれる。

用途別の区分け、モノの名前の見やすい表示、

戻しやすい配置、空き空間の活用など、さらに改善する必要がある。

実践事例で見かけるメッシュ棚による管理に変更したいが、

時間がとれずなかなか手が付けられていない状況。

【教訓】

一度で終わらず、少しずつ改善を重ねていく。



- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5